

自然生態系を活用した社会課題への対応推進費



【令和5年度予算(案) 34百万円(67百万円)】

自然生態系を活用した様々な社会課題への対応を進めます。

1. 事業目的

自然生態系を保全・再生しながら社会課題への対応を進める取組である「自然を活用した解決策(Nature-based Solutions: NbS)」を推進する。これにより自然共生社会と脱炭素社会の同時実現を進める。

2. 事業内容

自然生態系を保全・再生しながら社会課題への対応を進める取組である「自然を活用した解決策(NbS)」は近年急速に注目されており、G7やG20等でもNbSの拡大を約束している。NbSで対応できる社会課題としては、気候変動への緩和、適応、防災・減災、地域経済の活性化等が想定される。とりわけ我が国においては人口減少により土地活用のあり方が転機を迎えつつあるところ、NbSによって地方における様々な課題を費用効率的な形で対処できるポテンシャルがある。よって本事業ではNbSの現場実装に向けて、我が国の国土・社会条件を踏まえた取組の方向性や、具体的な取組事例の提示、GIS等を活用した取組手法等について調査・検討するもの。また、既に普及展開のフェーズにあるEco-DRRについては、自治体によるEco-DRRに係る計画策定や取組への技術的支援を行う。

〔事業内容〕

- NbSの自治体向け手引きの策定、NbSによるアプローチが確立されていない分野における方法論の確立に向けた調査・検討(気候変動の緩和等)
- Eco-DRRに係る自治体への技術的支援

3. 事業スキーム

- 事業形態 ①②請負事業
- 請負先・交付対象 ①②民間事業者等
- 実施期間 ①令和4年度～令和7年度、②令和5年度～

4. 事業イメージ

